

2 すべての子どもが自分らしく健やかに成長できる教育・保育環境をつくる

現状と課題

- ・乳幼児期は、子どもの健やかな成長のために重要な時期であり、その時期にふさわしい一人ひとりに応じた育ちの保障をしていくことが大切です。
- ・共働き世帯の増加に伴い、保育ニーズが高まっており、依然として待機児童が生じています。待機児童解消に向けた受け皿の確保が必要です。
- ・保育の人材確保が課題となっており、就学前教育・保育を担う人材の定着を図るために、働きやすい職場環境を作ることが不可欠です。現場の事務負担の大きさが依然として課題となっていますが、ＩＣＴの活用により園運営にかかる業務効率化を図り、保育の質の向上や職員の働きやすさにつなげる必要があります。

（1）保育所等の受け入れ体制の充実

○目標・方向性

- ・共働き世帯の増加に伴う保育ニーズの高まりから、待機児童の解消に向けて、教育・保育環境の整備を行うとともに、人材確保に取り組みます。

○主な事業・取組（★…法定事業）

① 教育・保育提供体制の確保【幼児課】★

確保方策に基づき、市内全域に教育・保育環境の整備を行い、待機児童の解消に努めます。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
保育所等の受け入れ確保量	3,494人	3,704人

② 保育士等の確保【幼児課】

保育士を目指す学生や潜在保育士に向けた取組を積極的に行うとともに、保育士の働きやすい環境づくりを図り、保育士等の就職率や定着率の向上に努めます。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
保育人材確保に関するフェア等来場者の市内就職率	36.4%	43.5%

（2）次代の親の育成

○目標・方向性

- ・子育てに対する理解を深め、子育てに対して希望を持つことができるよう次代の親やこれから子育てをする人たちに対して、学びの機会を提供します。

○主な事業・取組

① 家庭教育支援【生涯学習課】【幼児課】

子育てサロンや講座の開催により、保護者同士や家庭教育支援員との交流の機会を設け、家庭教育支援を行います。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
近江八幡市子育てサロンの開催数	3回	5回
保護者研修会の実施園数	17園	26園

（3）子どもの力を伸ばす教育・保育環境の充実

○目標・方向性

- ・就学前の乳幼児期は、生涯にわたる人格形成の基礎が培われる重要な時期であるため、子どもの豊かな育ちと学びを保障できる質の高い教育・保育の確立を目指します。
- ・子どもの育ちと学びをつなぐため、幼稚園、保育所、こども園、小学校・中学校の連携及び接続の強化を図ります。

○主な事業・取組

① 職員の資質と専門性の向上【幼児課】【学校教育課】

教育・保育の推進に向けての研究・研修会の実施及び経験年数に応じた研修の場を設定し、人材育成を図ります。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
保育所、幼稚園、こども園教職員キャリアステージ研修会実施回数	各ステージ3回	各ステージ3～5回
小・中学校教職員キャリアステージ研修会実施回数	各ステージ2～6回	各ステージ2～6回

② 幼保小のなめらかな接続【幼児課】【学校教育課】

発達や学びの連続性と系統性を踏まえたカリキュラムの作成・実施を通して幼児教育の「学びの芽生え」と小学校教育の「学びの基礎」のなめらかな接続を図ります。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
各小学校区での幼保小接続にかかる協議会の実施回数	2回	3回

③ 読書・絵本環境の充実【幼児課】【学校教育課】

乳幼児から発達段階に応じた読書活動の充実を図るとともに、子どもが本と出会い、読書の楽しみを知る機会の提供や読書・絵本環境の整備を図ります。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
就学前施設での絵本読み聞かせ実施状況	1～2回/日	1～3回/日
学校図書館での一人当たりの年間貸出冊数	14.4冊	20冊

（4）健やかな心身の育成

○目標・方向性

- ・「子どもの権利」の視点を大切にし、一人ひとりが自分のよさや可能性を発揮しながらこれから時代を生き抜く力を育むことができるよう、豊かな心と健やかな体の育成を目指します。
- ・子どものこころの問題等、学校現場における課題が複雑化かつ多様化していることから、相談体制の充実を図ります。

○主な事業・取組

① 教育相談事業【教育研究所】【学校教育課】

子育て、発達相談はじめ、校園所への行きしぶり、不登校、いじめ、問題行動などに悩むこどもや保護者への相談、支援体制を充実します。

指標	現状値（R5）	目標値（R11）
教育相談員、臨床心理士による電話・面接相談 やスクールソーシャルワーカーの派遣回数	936回	1000回

（5）家庭や地域の教育力の向上

○目標・方向性

- ・未来を担うこどもの育ちや学びを地域全体で支援するため、家庭、地域が果たす役割を見つめ直し、地域の人々との交流や地域との連携を深めながら、体験や学習をはじめとした活動の充実に努めます。

○主な事業・取組

① にこまるポケット【生涯学習課】

にこまるポケット（校園所で活用する講師リスト）に登録された地域人材の方々による学校教育への参画を通して、教育の充実を図ります。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
にこまるポケットの登録者数	24人	30人

② ふるさと教育・保育の推進【幼児課】

地域の自然、歴史、文化といった地域資源を活かし、地域の人々とのふれあいや交流を通して、地域とのつながりを大切にするとともに、ふるさとへの愛着や豊かな心を育みます。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
地域交流実施園数	18園	26園

（6）こどもを取り巻く有害環境対策の推進

○目標・方向性

- ・有害情報との接触、メディア接触の低年齢化や長時間化等、こどもを取り巻く有害な環境からこどもを守るための取組を推進します。

○主な事業・取組

① 携帯電話・ネット防犯予防対策、スマホ、SNS等の適切な使用に関する学習【学校教育課】

情報モラルに関する学習やPTAや警察等関係機関との連携により、ICT機器やスマートフォン等の健全な取扱いについて啓発を行います。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
情報モラルに関する学習やICT機器・スマホ・SNS等に関する研修会の実施校数（年1回以上）	全小中学校（16校）	全小中学校（16校）

② メディア問題に関する保護者向け啓発【幼児課】

就学前児童のスマートフォン等メディアに関する影響について、保護者向けに啓発を行います。

指標	現状値（R5）	目標値（R11）
保護者向け啓発活動の実施施設数（年1回以上）	全施設（34施設）	全施設（35施設）

（7）食育の推進

○目標・方向性

- ・子ども及び家庭の心身の健康、健全な食生活の実現のため、食育を通して健康づくりを支援します。
- ・市の特産品や市内産の野菜を使用し、昔から伝わる郷土料理を取り入れた給食を実施する等、学校給食を通して、地産地消の推進及び食に関する意識の啓発を図ります。

○主な事業・取組

① 正しい食習慣の啓発【幼児課】【学校教育課】【健康推進課】

子どもや子育て家庭に対し、食事と健康の関係、食事マナーについて啓発し「食を選ぶ力」「食べる力」の育成を図ります。

指標	現状値（R6）	目標値（R11）
幼・保・こども園における食育の総実施回数	116回/年	125回/年
小・中学校における食育推進教室の実施校数	15校	16校
食育の取組の実施数	近江八幡市食育推進計画に基づき実施	

（8）多様な保育ニーズへの対応

○目標・方向性

- ・仕事と子育ての両立を支援するためのサービスを拡充するとともに、乳児等通園支援事業（子ども誰でも通園制度）の実施（令和8年度以降）により、すべての子育て家庭に対して多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での支援を強化します。

○主な事業・取組（★…法定事業）

① 一時預かり事業【幼児課】【こども家庭センター】★

通常の教育時間後や、長期休業期間中等に、希望する在園児を対象に保育を行います。また、就労や通院、育児リフレッシュなどで一時的に家庭での保育が困難な在宅の乳幼児を対象に保育を行います。

指標	現状値（R5）	目標値（R11）
年間延べ利用人数（幼稚園での一時預かり事業）	8,311人	17,447人
年間延べ利用人数（幼稚園以外での一時預かり事業）	1,087人	1,319人

② 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）【幼児課】★

すべての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルに関わらない形での支援を強化するため現行の幼児教育・保育給付に加え、月一定期間までの利用可能枠の中で、就労要件を問わず時間単位等で柔軟に利用できるようにします。